

○事業所名	このおと			
○保護者評価実施期間	2026年 1月 21日		～	2026年 3月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46 (兄弟姉妹含む) 保護者数 38	(回答者数)	32 回収率 88.9%
○従業者評価実施期間	2026年 1月 21日		～	2026年 3月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 27日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	音楽療法特化型の施設で個別療育中心あること	音楽を通して個々に応じた療育ができるように工夫している。 楽器活動や身体活動、対話や音でのやり取りなどを通して、5 領域がバランスよく伸ばせるように活動内容を組み立ててい る。	個別療育を中心としているが、少人数のグループ療育を充実 させて、同年代の子ども同士の社会性やコミュニケーション 力を育む機会を設けていきたい。
2	職員の質の高さ	研修の機会や資格取得のための支援を充実させているため、質 の高い職員を配置できている。	さらに研修内容の幅を広げること、また、専門職員を増やし ていくことを検討している。
3	課外イベントの開催	利用児が自らの演奏を披露する発表会や、自由に生演奏を楽し めるコンサートを実施することで、障害のある子どもたちが日 常生活の中で体験しがたい機会を提供している。 また、それらのイベントには保護者も一緒に参加していただ くことで、子どもの成長を感じたり、家族で音楽を楽しんだり できるように工夫している。 今年度は保護者のみの勉強会や交流会も数回開催し、保護者支 援にも繋げることができた。	今後もより多くの方に参加していただけるよう、イベントの 内容を検討し、それぞれの日程や開催回数も工夫していき たい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流機会が少ない	個別療育で短時間の支援のため、地域に出る機会(買い物や公 園など)を作ることができない。	地域の方に事業所のことを知ってもらえるような情報発信や 地域の方が参加できるイベントなどを企画できないか検討す る
2	療育時間中に避難訓練を実施できない	個別療育で短時間の支援のため、その時間を避難訓練に充てる ことが難しい。	保護者とともに防災を学ぶ機会を作ることや職員で行った避 難訓練の実施内容の共有することで、災害時の対応を理解し ていただけるよう工夫していく。
3	玄関に段差があり車椅子の入室が難しい	建物の構造上、フラットにしたりスロープを常設することが難 しい。 現在は、保護者とスタッフで対象児や車椅子を持ち上げるこ とで入室している。	今後、簡易スロープの設置を検討する。